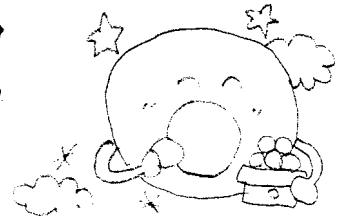




# ゆり組だより9月号

平成29年9月20日 こひり保育園 担当:宮本(京)



入道雲からいっし雲など秋の雲へと変化し、少しずつ過ごしやすくなってきました。

さて、ゆり組の子ども達は、毎日運動会に向けて練習に励んでいます。

おゆうぎのソーラン節では振り付けも覚え、「今日もやりたいな」と言っています。そして曲が流れ始めると「とっこいよ、とっこいよ、ソーランソーラン」と大きな掛け声で踊っています。そしてリレーでは一人ひとりが「バトンを繋ごうと一生懸命走り、また自分のチームの友だちを「おちゃん、お君頑張れ、定、てー抜かしてー」と応援しています。走り終わると「頑張って来たよ」と伝えてくれます。順位が何位でも喜び「もう1回走りたい」「次は勝ち」と意欲に繋がっています。

鼓笛でもそれぞれが練習を重ねる度に、上手になりまわってきています。心の中には「1つになって成功させた」という気持ちが増えてきているようです。最後の運動会に向け心を1つに出来るよう、残りの日々も楽しみながら練習をしていきたいです。

そして8月後半よりホールでの生活が始まりました。子ども達は広い保育室に喜びながらも「皆で使う場所だからきれいに使う」という気持ちで過ごしています。

また、廊下の歩き方を身につけたり、保育者とあゆんだ際や、何かをしてもらったときなどの挨拶、整理整頓、さまざまな

場面において今まで以上にしがりやという気持ちが増え、良い刺激になっています。これから子ども達の小さな変化を見逃さず過ごしていきたいと思えます。

